



フェライトコアのカタログ



蒲田工場前に勢揃い (1937年7月21日)

# TDK

吉沼 雄一

蒲田モダン研究会一〇周年記念にあたり、蒲田モダン研究会との出会いは、今から七年ほど前になり早くもこんな時間が短く感じられます。

蒲田モダン時代は、父から蒲田松竹映画撮影所の事を少し聞かされ、又モダン研究会の発表会の話を聞き、当時の思いを馳せることになりました。自分自身が定年を迎え会社の歴史を改めて考えてみたら、六〇周年社史及び大田区内の区役所、図書館、郷土史博物館行きTDK(東京電気化学工業(株))についての資料は無く(旧日本軍により抹消されたと思われます)。社名のない地図のみを元に発表することになりました。初代社長・斎藤憲三氏により東京電気化学工業株式会社を一九三五年(昭和一〇年)に東京市芝区田村町に設立、一九三七年(昭和一二一年)東京市蒲田区萩中町四一一番地(現大田区萩中二丁目と三丁目の接した辺り)に蒲田工場が完成し、フェライトコアをオキサイドコアと命名し発売、その時創業者の思いとは世界中が電波で繋がることを夢見ていたものではないかと思いません。

その後松下電器産業(株)の大量発注(丸棒形コア)を受けたのち故郷である秋田県平澤町に平澤分工場を建てました。しかし昭和二〇年四月に東京大空襲で蒲田工場は消滅しました。

大田区の歴史の中のTDK(株)は東京工業大学電気化学科に始まり蒲田モダンの時代の端として、一時代を築いていたものと思います。

この頃の蒲田地区では主にどの様な産業(メーカーなど)があったのかを、上げると、①黒澤商店(タイプライター)、②大蔵陶園(ノリタケ) ③TOTO日本碍子、日本特殊陶業(NGK)を傘下に設立、④松竹蒲田撮影所(一九三六年(昭和一一年)大船に移転) ⑤新潟鉄工所(ジーゼルエンジン)、⑥高砂香料(現在も蒲田に存在)、⑦東京計器(精密機器 現在蒲田に本社が存在)。

なおTDKはその後フェライトコアの他、フェライト磁石、セラミックコンデンサー、磁気テープ等様々な多品種製品を製造する総合電子部品メーカーとして発展して行きました。

発表して七年ほど経ちますが協力して頂いた方々へ感謝いたします。